

## ( ) 風力発電部会

自治体による再生可能エネルギーの事業化のモデルとして、環境モデル都市に指定されている梶原町における風力発電の事業化に向け、本部会において基本構想（案）の検討を行った。

## まとめ

・梶原町では、2050年度までにメガワット級の風車40基を整備し、家庭部門における電力エネルギー自給率100%を目指しており、本部会において、第1期計画となる10基の導入に関する基本構想（案）を検討。

・これまで町独自に開催してきた勉強会の内容をベースとして、事業化に向けた検討項目を整理し、基本構想（案）としてとりまとめた。

（別添参照）

・町として発電事業の目的を明確にし、地域住民や周辺自治体への説明責任を果たす必要がある。

・基本構想（案）の具体化に向けて、周辺自治体との連携（仲間づくり）の取組みを進めることが重要となる。

・本部会をそうした場として活用することで、事業スキームの円滑な実現につなげていく。

## 【次年度以降の課題】

- ・周辺自治体との関係づくり
- ・事業主体のあり方
- ・資金調達の手法の検討
- ・環境影響調査など法令への対応
- ・風況調査の実施検討 など

※議事概要を添付